

平成20年度地域ICT利活用モデル構築事業 成果報告書

実施団体名

伊仙町（鹿児島県）

代表団体名

事業名称

「長寿者のライフスタイルの知恵活用モデル事業」

1. 事業実施概要

健康な高齢者のライフスタイルのデータ蓄積と情報公開により将来的な介護受給者に対する予防措置を講じるとともに毎日の健康情報を情報システムの応用及び公開することで島内外の医師や保健師などによるアドバイスや予防策を提供する。また健康づくりを行う施設を利用し、毎日の健康データを閲覧することで自ら病気予防を積極的に行い医師や栄養士などからのアドバイス情報の共有、来訪者同士の交流による生活の知恵を得ることでライフスタイルを向上させる。このようなライフスタイルのケーススタディを紹介することで都市市民の健康や長寿に関する興味を醸成し、来訪促進や食材の販売、新たな商品開発を行うことで離島の新たな産業を創出する。

2. 目標の進捗状況

指標	目標値	結果の数値	達成状況	計測方法・出展等
システムの基本設計と構築、専門家やアドバイザの確保	専門家およびアドバイザ数 20名の確保	専門家2名、アドバイザ18名確保	○	専門家による日々のバイタルチェックに関する知見提供、アドバイザによるライフスタイルのインタビュー対応をホームページで紹介掲載

3. 達成状況が△又は×の場合はその理由

<委託業務説明書>

1 平成20年度事業実施において明らかとなった課題

伊仙町を含む徳之島は世界でも有数の長寿者が生活し、かつ出生率も日本一を誇る暮らし豊かな地域である。本事業で ICT を応用して日々の健康情報の蓄積を行い、自らが健康予防に気をつけること、長寿者のライフスタイルを広く後世の人々に伝承することで生きる知恵を学ぶことを課題とした。同じ集落に暮らす中でも長寿者のライフスタイルを手近に学ぶことができる環境にもありながら、経済的な事由などから高齢者だけの住居も多く、ICT 応用というリアルタイム利用できる仕組みが共有できていない。通信インフラなどの要因もあるが、本来の家族の在り方が改めてクローズアップされた形だ。しかしながら島独特の集落連帯意識を持って ICT 機器などが利用できる若年層とのコミュニケーションや健康づくり施設などでの協力で、元気な姿を ICT 機器の利用で遠隔にいる家族にリアルタイムに近い形で伝えることもできることが実証できたと思われる。失われつつある近隣とのコミュニケーションを直接はかるために ICT が役に立つことの実証ではないかと思う。

2 自律的・継続的運営の見込み

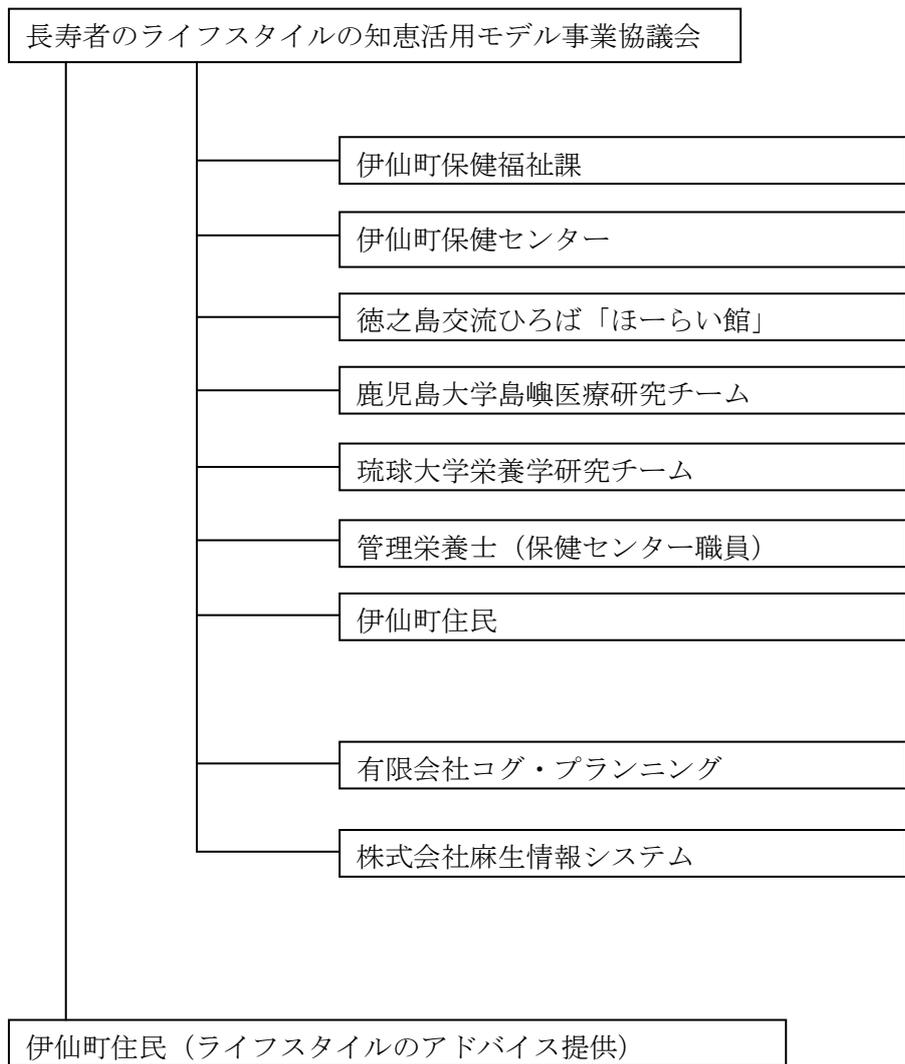
数年来の地方財政がひっ迫した状況であるが、住民の一番興味がある「健康で暮らすこと」のために日々の健康チェックが行え、自宅では閲覧できないデータも健康づくり施設に足を運びことで予防に対する意識も向上できることを引き続き周知し来場者の増加を促進すること、さらには健康関連産業への働きかけによりシステムを維持するための経費をバナー広告収入などで得ることで自律的に継続運営を予定している。また、新年度以降は広報及びシステム、コンテンツの管理ができる人材の新たな配置も予定しており ICT だけでなく広く PR 活動を行うことで来島者の促進をはかり、長寿に関する研究のためのシンポジウムなどを企画予定で「徳之島＝長寿・子だから」ブランドを構築する。

3 今後の展開方針

伊仙町のみならず徳之島全域での健康づくり施設への来場促進、併設予定の直売所でのシステム利用の促進、長寿者の健康コラムの利用で遠隔地に住む家族などへの ICT を応用した画像データの掲載などを促進し、健康・長寿に対する興味を醸成し訪問客の増加、新たな製品開発など住民協力を得ながら展開する方向である。伊仙町は長寿だけでなく、出生率が日本一の町でもある。徳之島 3 町が上位を占める子だからの島でもある。長寿と子だからという暮らし豊かな島の活性化を促進するためには ICT を利用したシステムだけに頼り情報発信をするのではなく、各種のメディアをミックスした広報活動も必要だと考える。このことにより島外の方々の長寿・子だから・健康に対する興味を醸成し地域の発展につながる情報配信を継続する。また島内の他町ではスポーツ合宿が盛んで、著名なスポーツ選手も来島している。伊仙町の健康増進施設も利用して頂き、複合的（環境・食）に健康作りができる地域としてのアピールも必要である。そのため徳之島 3 町の協力を促進する必要がある。

<実施体制説明書>

1 実施体制



2 各主体の役割

NO	名称	役割
1	伊仙町保健福祉課	プロジェクト全体管理・島外との連絡調整 長寿者のライフスタイル検証・アドバイス収集
2	伊仙町保健センター	島内各主体の調整・実証実験の管理 健康診断データおよび健康食レシピ整備・提供
3	徳之島交流ひろば「ほーらい館」	島内住民の実験参加要請・実験フィールド提供 健康な暮らしに関するアドバイス提供
4	鹿児島大学島嶼医療研究チーム	医学的評価指標の検討・利用者へのアドバイス 健康診断データの掲載内容等知見提供
5	琉球大学栄養学研究チーム	栄養学的指標の検討・利用者へのアドバイス 健康食レシピ食材に関する地検提供
6	管理栄養士(保健センター職員)	栄養学的指標の検討・利用者へのアドバイス 健康レシピ整備・提供
7	伊仙町住民	島のライフスタイルに関する調査協力 健康な暮らしに関するアドバイス提供
8	有限会社コグ・プランニング	システムの基本設計・管理・運営 システム全体調整／コンテンツの企画・制作 企画と事業のビジネス化検討
9	株式会社麻生情報システム	システム設計・開発・構築 サーバ運営管理

事業実施進行表

実施内容	H20 12月	H21 1月	2月	3月
協議会等設立・準備会合	△ 15～17日	△ 20～23日	△ 10～11日	△ 4～6日
協議会等開催		△ 29日	△ 24日	△ 19日
システム構成の検討・決定	→			
システム構築に係る競争入札	△			
システム設計	→			
住民調査				→ 4日～6日
システム稼働				→
報告書作成			→	

その他

本事業により構築したウェブサイト又は本事業を掲載したウェブサイト

[1] <http://do-kuwasa.jp> [どうくわさ(元気!) ようこそ長寿・子宝の島“徳之島”へ]

[2] <http://www.town.isen.kagoshima.jp> [伊仙町 HP]

平成20年度地域ICT利活用モデル構築事業 システム設計書

実施団体名：伊仙町（鹿児島県）

代表団体名：

事業名称：長寿者のライフスタイルの知恵活用モデル事業

1 概要

トップページ：お知らせ、メニュー紹介

初めの方へ：本サイトの概要説明

健康マイページ（会員専用）：健康診断データ閲覧、日々の健康記録簿、ライフスタイルチェック

健康の秘訣：健康の秘訣映像閲覧（投稿は会員登録必要）

健康コラム：健康に関するアドバイス、体験など掲載

健康長寿レシピ：食材によるレシピ検索、成分表示

会員用ページ：登録内容変更など

その他：健康診断および健康診断データ閲覧する施設としてのほーらい館ホームページ

長寿健康レシピや食材に関連する施設としての百菜ホームページ

2 運用結果

3月中旬より本番環境を想定したテスト公開を行った。

健康診断データについては過去3年分を掲載し、新規のデータ更新があれば随時直近3年分の掲載する。日々の健康記録簿は試験的に10名の住民のデータを記録した。健康の秘訣については、長寿者のライフスタイル映像を収録し掲載し、遠隔地での閲覧確認を行った。健康長寿レシピは食材によるレシピ検索および成分表示（成分データがある食材のみ）を確認した。これにより住民の健康意識が高まった。

3 課題・改修の必要性

- ・リアルタイムに伝達できる長寿者ライフスタイル画像の編集の簡素化
- ・レシピ食材の成分調査の充実化、食材からのレシピ検索の簡素化のための改修
- ・健康の秘訣で掲載する動画像などの掲載許可に関するシステム及び運用の見直し

4 その他

特になし